

キラリと笑顔が輝くまち

とばぐらしの魅力を再発見

企画財政課移住・定住係 ☎(25)1227



阿部 登紀雄さん(49)
出身地：千葉県

「もう一回人生を楽しく！」

青春をしたい

令和3年7月より鳥羽なかまちに移住された阿部さんです。阿部さんが何を経験し鳥羽なかまちに定住を決めたかに迫ります。

経歴だけでは鳥羽と接点があるように見えませんが定住の理由を深掘りします。

～経歴～

大学卒業後、乳製品の営業販売を行う。その後、映画監督になる夢を持ち、映画の専門学校へ2年間通う。学校卒業後フリーで映画監督を目指すも難しく、カラオケの映像制作の会社へ就職する。(当時、MVやPVが流行り初のディレクターへ) 28歳の時に再転職し、ADやディレクター・アシスタントプロデューサーとして勤める。

【なぜ鳥羽への移住を決めましたか？】

鳥羽の人の良さ・景観の良さと定住を決めました。特に人の良さと定住を決めました。

きっかけは、父親が山形県鶴岡市湯野浜温泉近くの田舎出身で、そこに親戚のおじさんがいました。そのおじさんには優しく受け入れてくれる暖かさがありました。

漠然とですがそのおじさんに憧れをいだいて、その人の影響をうけて地方移住を考えることになりました。

【特に鳥羽のどんな人に影響されたのですか？】

鳥羽市地域おこし協力隊OBの佐藤創さんです。佐藤さんがたくさんの「鳥羽なかまち」のかたを紹介してくれました。特に合同会社NAKAMACHIのみなさんと出会った際「ホッとしました」。

【「ホッと」した感じとは】

まちに可能性を感じました。人が良く、町の人たちが盛り上げようとしてくれていると思ひ、住める！とホッとしました。

【個人的に鳥羽でやりたいことはありますか？】

周りの人の意見を聞いて自分が表現できるまち作りをしたいです。

【趣味はありますか？】

今はTVゲームです。昔はスポーツ観戦などが趣味でした。

【鳥羽の生活について良いところはありますか？】

東京で暮らしていたのである程度のギャップは把握の上でした。

そのため、鳥羽は何でもあるなと思いました。100円均一店とかがありますし。(笑)

【現在ほどのような仕事をされていますか？】

鳥羽なかまちにある魚寅さんで営業販売活動をしています。人と仕事がしたいと思っていたので良い職場と巡り会えたと思います。

「もう一回人生を楽しく」をコンセプトに、仕事を新しく覚えることの楽しさや、自分

が考えていることを実現していく楽しさを実感しています。

【移住・定住を考えたうえで、しやる人に何かコメントをお願いします】

私は鳥羽なかまちに移住する前にさまざまなところに行きました。

実際に地域を見るだけではなく、人と話をしないと移住の決断はできないと思います。

その中でも鳥羽なかまちはフレンドリーに受け入れてくれますので、ぜひ一度景観では分からない部分も確認してほしいと思います。

